

# 米に関するマンスリーレポート

新潟県版 令和元年9月

## 《今月の特集1》

### 国の概算要求について

8月30日に、国の令和2年度予算の概算要求が公表されました。  
このうち、水田活用の直接支払交付金の要求の概要とポイントは、次のとおりです。

#### 水田活用の直接支払交付金 【令和2年度予算概算要求額 321,500 (321,500) 百万円】

##### <対策のポイント>

米政策改革の定着に向け、食料自給率・自給力の向上に資する飼料用米、麦、大豆等の戦略作物の本作化とともに、産地交付金により、地域の特色ある魅力的な産品による産地の創造を支援します。また、高収益作物の導入・定着を促進するため、高収益作物定着促進等助成を新設し、支援します。

##### <政策目標>

- 飼料用米、米粉用米の生産を拡大（飼料用米110万トン、米粉用米10万トン〔令和7年度まで〕）
- 飼料自給率の向上（40%〔令和7年度まで〕）
- 抱い手の飼料用米の生産コストを10年間で5割程度削減〔令和7年度まで〕
- 麦・大豆等の作付面積を拡大（麦28.1万ha、大豆15万ha〔令和7年度まで〕）

##### <事業の内容>

##### <事業イメージ>

#### 1. 戦略作物助成

- 水田を活用して、麦、大豆、飼料作物、WCS用稲、加工用米、飼料用米、米粉用米を生産する農業者を支援します。

#### 2. 産地交付金

- 地域の作物振興の設計図となる「水田フル活用ビジョン」に基づき、高付加価値化や低コスト化を図りながら、地域の特色のある魅力的な産品の産地を創造するため、地域の裁量で活用可能な産地交付金により、二毛作や耕畜連携を含め、産地づくりに向けた取組を支援します（一定割合以上は都道府県段階で支援内容を決定）。

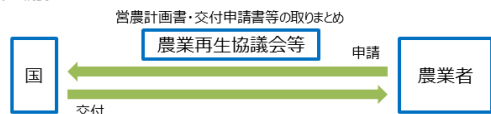
#### 3. 高収益作物定着促進等助成

- 都道府県が策定した「水田農業高収益化推進計画」に基づき、国のみならず地方公共団体等の関係部局が連携し、基盤整備、栽培技術や機械・施設の導入、販路確保等の取組と併せて、水田での高収益作物への転換等を計画的かつ一体的に推進します。

##### 交付対象者

販売目的で対象作物を生産する販売農家・集落営農

##### <事業の流れ>



【お問い合わせ先】 政策統括官付穀物課 (03-3597-0191)

##### 戦略作物助成

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物※1	3.5万円/10a
WCS用稲	8.0万円/10a
加工用米	2.0万円/10a
飼料用米※2、米粉用米※2	収量に応じ、5.5万円～10.5万円/10a

##### 産地交付金

※1 飼料用とうもろこしを含む ※2 複数年契約を基本

- 「水田フル活用ビジョン」に基づき、地域の裁量で産地づくりに向けた取組を支援します。
- また、取組に応じた配分（下表参照）を都道府県に対して行います。

取組内容	配分単価
飼料用米、米粉用米の多収品種	1.2万円/10a
そば、なたねの作付け（基幹作のみ）	2.0万円/10a
新市場開拓用米の作付け（基幹作のみ）	2.0万円/10a

上記のほか、以下の取組に応じた配分を行います。

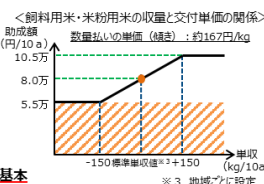
- ① 転換作物拡大加算（1.0万円/10a）  
転換作物が拡大し、主食用米の面積が平成29年度以降の最小面積より更に減少した場合に、その面積に応じて配分。
- ② 高収益作物等拡大加算（2.0万円/10a）  
主食用米の面積が平成30年度以降の最小面積より更に減少し、高収益作物等※4の面積が拡大した場合に、その面積に応じて配分。

##### 高収益作物定着促進等助成

- 「推進計画」に位置付けられた産地における以下の取組を支援します。
- ① 高収益作物定着促進支援（2.0万円/10a×5年間）  
高収益作物の新たな導入面積に応じて支援。
- ② 高収益作物畑地化支援（10.5万円/10a）  
高収益作物による畑地化の取組を支援※5。
- ③ 子実用とうもろこし支援（1.0万円/10a）  
子実用とうもろこしの作付面積に応じて支援。

※4 高収益作物等：高収益作物（園芸作物等）、新市場開拓用米、加工用米、飼料用とうもろこし

※5 その他の転作物に係る畑地化も同様の単価で支援



農林水産省ホームページで、「令和2年度予算概算要求の概要」が確認できます。  
<http://www.maff.go.jp/j/budget/2019/index.html>

##### <概算要求のポイント>

- ① 県が策定する「水田農業高収益化推進計画」に位置付けられた産地における高収益作物※の新たな導入等に対する支援である「高収益作物定着促進等助成」が新設されています。

※高収益作物：野菜、果樹、花き、花木 等

- ② 戦略作物助成における飼料用米と米粉用米の取組に対する支援は、複数年契約に組み込むことを基本としています。

● 今後、具体的な制度設計の動きを見極めながら、効果的に制度を活用し、需要に応じた米づくりに取り組みましょう。

# 《今月の特集2》



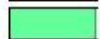
## 令和元年産水稻の8月15日現在における作柄概況

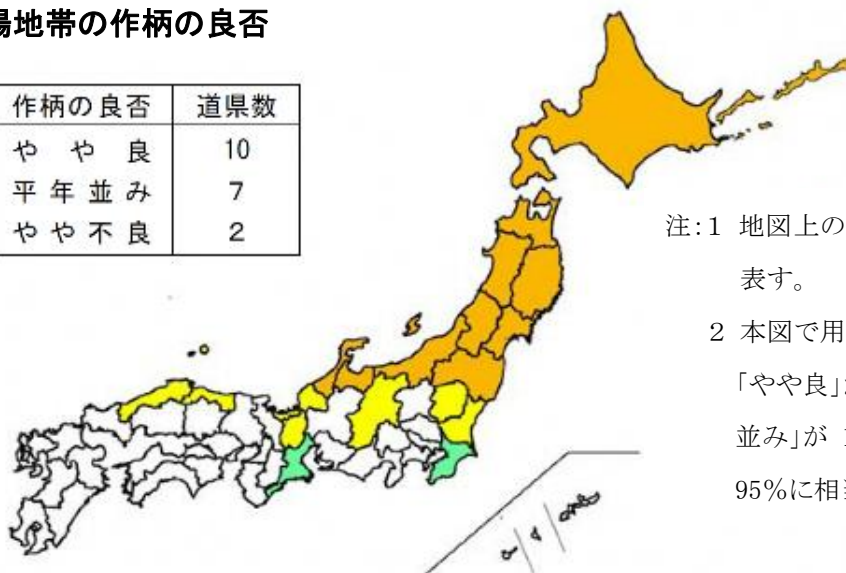
8月30日に農林水産省から「令和元年産水稻の8月15日現在における作柄概況」が公表され、新潟県は「やや良」、また早場地帯全体では北海道や東北などの米主産地の10道県で「やや良」と見込まれています。

本県での収穫作業は最盛期を迎えています。

今年は出穂後の気温が高く推移してきたことから、登熟の進みが早まっています。早めに籾の黄化率を確認して適期収穫を行うとともに、丁寧な乾燥調製により、高品質な新潟米に仕上げましょう。

### 早場地帯の作柄の良否


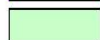
区分	作柄の良否	道県数
	やや良	10
	平年並み	7
	やや不良	2

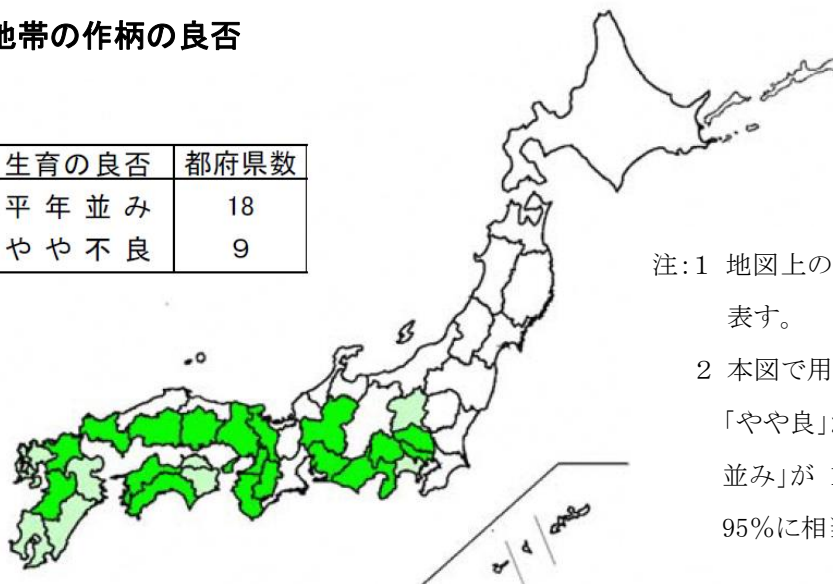


注:1 地図上の白抜きの都府県は、遅場地帯を表す。

2 本図で用いた作柄の良否の表示区分は、「やや良」が対平年比 105~102%、「平年並み」が 101~99%、「やや不良」が 98~95%に相当する。

### 遅場地帯の作柄の良否

区分	生育の良否	都府県数
	平年並み	18
	やや不良	9



注:1 地図上の白抜きの都府県は、早場地帯を表す。

2 本図で用いた作柄の良否の表示区分は、「やや良」が対平年比 105~102%、「平年並み」が 101~99%、「やや不良」が 98~95%に相当する。





# 新潟米の販売状況

## 概況

新潟米の販売状況は概ね順調に推移している。

## 販売比率

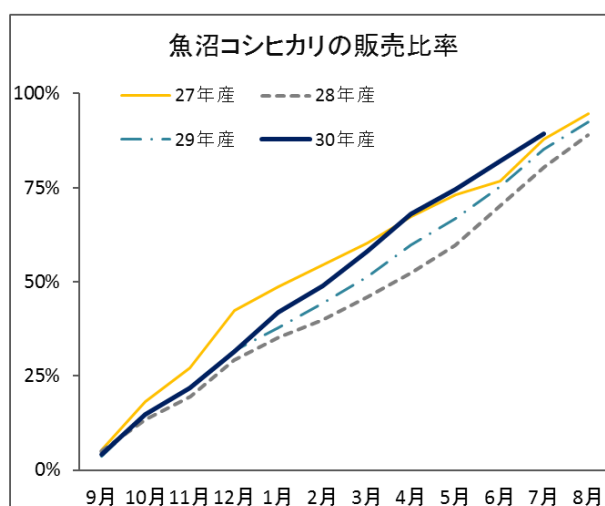
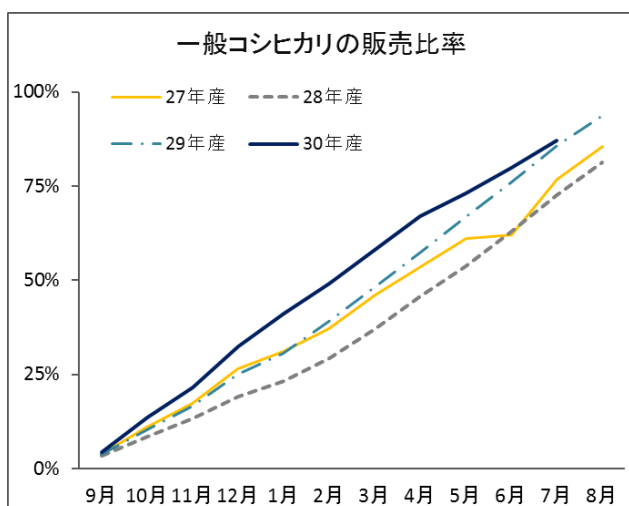
作柄不良等により集荷量が減少したことから、概ね販売は順調に進み、全銘柄の販売比率（出荷進度）は前年及び前々年を上回っている。

### (1) 一般コシヒカリ

7月の一般コシヒカリの販売比率は、前年比1ポイント増の87%となり、前年及び前々年を上回って推移している。

### (2) 魚沼コシヒカリ

7月の魚沼コシヒカリの販売比率は、前年比4ポイント増の89%となり、前年及び前々年を上回って推移している。



### 販売比率の推移

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	28年産	3%	8%	13%	19%	23%	29%	37%	46%	54%	63%	72%	81%
	29年産	4%	10%	17%	25%	31%	39%	48%	57%	67%	76%	86%	94%
	30年産	4%	13%	22%	33%	41%	49%	58%	67%	73%	80%	87%	
魚沼コシヒカリ	28年産	5%	13%	20%	29%	35%	40%	46%	52%	60%	70%	80%	89%
	29年産	4%	15%	22%	32%	38%	44%	51%	60%	67%	75%	85%	93%
	30年産	4%	15%	22%	31%	42%	49%	58%	68%	75%	82%	89%	
岩船コシヒカリ	28年産	4%	12%	18%	24%	30%	37%	46%	55%	63%	70%	80%	93%
	29年産	2%	13%	21%	28%	35%	43%	53%	62%	71%	78%	86%	95%
	30年産	1%	14%	23%	30%	36%	45%	54%	67%	74%	80%	89%	
佐渡コシヒカリ	28年産	5%	15%	21%	28%	36%	45%	54%	60%	68%	75%	82%	89%
	29年産	3%	14%	21%	29%	38%	44%	52%	60%	69%	76%	86%	96%
	30年産	2%	18%	27%	36%	46%	52%	60%	67%	76%	81%	88%	

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)平成28・29年産は、各月末時点の販売数量を翌年8月末の集荷量で除して算出。平成30年産12月までは、各月末時点の販売数量を直近月の集荷量で除して算出。(30年産12月以前は国による比率算出が公表されなかったため、公表資料を基に算出。1月以降国は比率を公表)





**在庫状況**

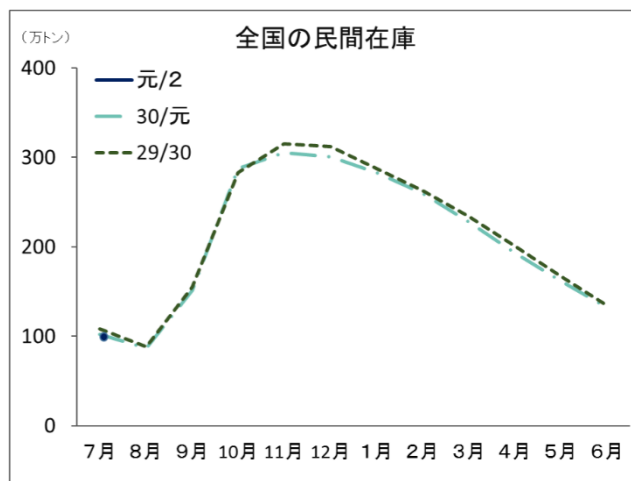
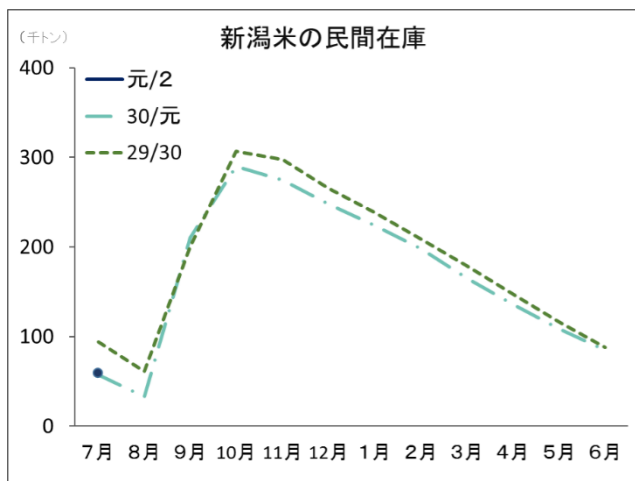
7月の民間在庫は、全国では依然として前年を下回っているが、新潟米については前年を10ヵ月ぶりに上回った。

(1)新潟米

7月の新潟米の民間在庫(うるち米)は、前年比1.7%増の59千トンとなり、前年を10ヵ月振りに上回った。

(2)全国

7月の全国の民間在庫(うるち米)は、前年比2.9%減の99万トンとなり、9ヵ月連続前年を下回った。



民間在庫の推移(うるち米)

(単位:新潟米は玄米千トン、全国は玄米万トン)

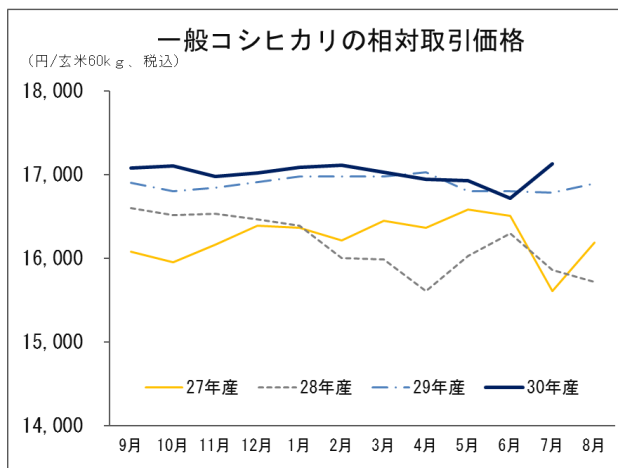
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
新潟米	29/30	94	61	200	307	298	266	239	209	179	147	116	88	
	29年産米	0	0	160	269	265	239	218	192	164	136	107	82	
	1年古米(28年産)	89	59	39	38	32	26	21	16	15	11	9	6	
	30/元	58	32	210	290	275	248	224	198	165	136	108	85	
	30年産米	0	1	194	276	264	241	219	194	163	134	107	84	
	1年古米(29年産)	53	29	15	13	9	6	4	3	2	1	1	1	
	元/2	59												
	31年産米	0												
	1年古米(30年産)	58												
全国	29/30	108	88	155	283	315	312	288	263	234	201	167	134	
	29年産米	1	15	104	241	282	288	270	249	223	192	160	129	
	1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	21	14	11	8	6	5	4	
	30/元	102	87	151	288	305	301	283	260	228	193	162	132	
	30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126	
	1年古米(29年産)	97	66	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4	
	元/2	99												
	元年産米	1												
	1年古米(30年産)	95												

資料：農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

相対取引価格

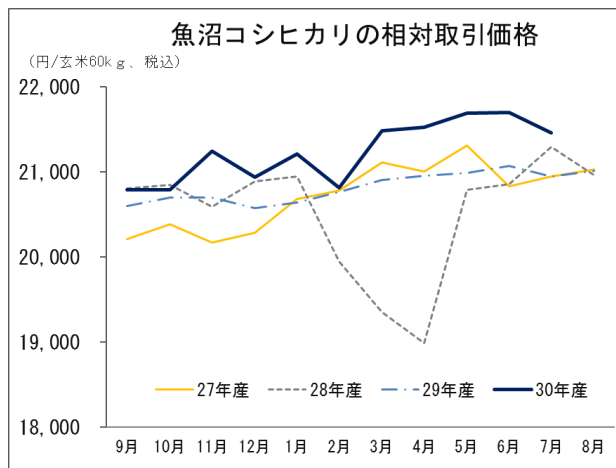
(1) 一般コシヒカリ

7月の一般コシヒカリの相対取引価格は、前年比2.1%上昇し、17,130円(玄米60kg、税込)となっている。



(2) 魚沼コシヒカリ

7月の魚沼コシヒカリの相対取引価格は、前年比2.4%上昇し、21,458円(玄米60kg、税込)となっている。



相対取引価格の推移

(単位:円)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	28年産	16,599	16,517	16,529	16,466	16,390	16,001	15,989	15,607	16,029	16,295	15,856	15,716
	29年産	16,906	16,798	16,846	16,907	16,982	16,980	16,974	17,030	16,801	16,801	16,784	16,890
	30年産	17,081	17,106	16,975	17,021	17,090	17,109	17,027	16,944	16,929	16,718	17,130	
魚沼 コシヒカリ	28年産	20,803	20,848	20,589	20,893	20,945	19,944	19,354	18,993	20,790	20,858	21,292	20,960
	29年産	20,600	20,703	20,700	20,578	20,640	20,767	20,902	20,956	20,987	21,072	20,945	21,010
	30年産	20,791	20,794	21,241	20,939	21,210	20,819	21,482	21,528	21,695	21,699	21,458	
岩船 コシヒカリ	28年産	17,038	17,037	17,004	16,970	16,955	16,741	16,856	15,465	17,037	16,937	-	-
	29年産	17,289	17,429	17,479	17,339	17,452	17,352	17,455	-	-	-	-	-
	30年産	17,442	17,474	17,478	17,454	17,493	17,423	17,445	-	-	-	18,337	
佐渡 コシヒカリ	28年産	17,012	17,046	17,038	16,997	17,042	17,034	16,944	16,463	16,992	16,957	-	17,062
	29年産	17,311	17,325	17,415	17,340	17,362	17,486	17,484	17,665	-	-	-	17,362
	30年産	17,487	17,830	17,476	17,493	17,420	17,349	17,458	-	17,510	-	17,743	

(資料) 農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注) 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの、または、当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表が行われないもの。



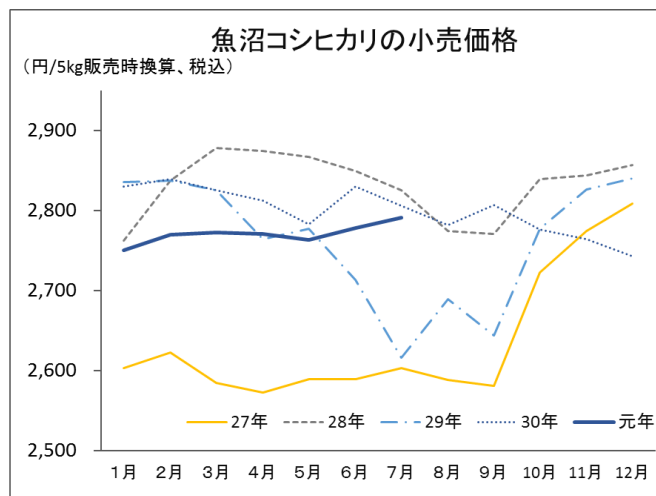
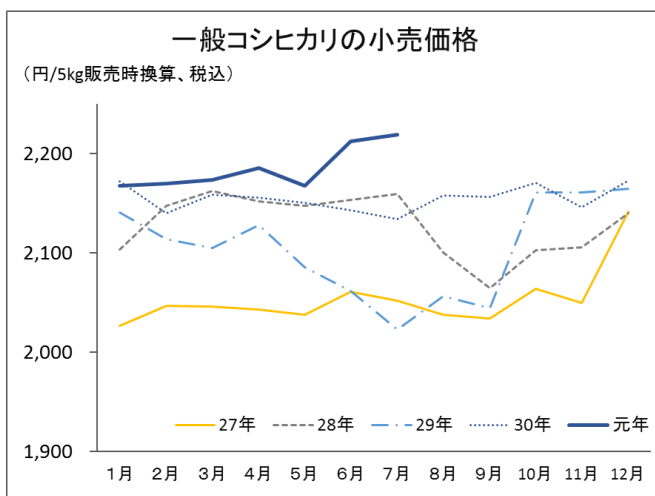
小売価格  
(POSデータ)

(1) 一般コシヒカリ

7月の一般コシヒカリの小売価格は、前年比で4.0%上昇し、2,219円(5kg袋販売時換算、税込)となり、6ヵ月連続前年を上回った。

(2) 魚沼コシヒカリ

7月の魚沼コシヒカリの小売価格は、前年比で0.5%下落し、2,791円(5kg袋販売時換算、税込)となり、10ヵ月連続で前年を下回っている。



小売価格(POSデータ)の推移

(単位:円)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一般 コシヒカリ	29年	2,141	2,114	2,105	2,128	2,086	2,062	2,023	2,057	2,045	2,161	2,161	2,165
	30年	2,172	2,140	2,159	2,156	2,151	2,143	2,134	2,158	2,157	2,171	2,146	2,173
	31・R1年	2,168	2,170	2,174	2,186	2,168	2,213	2,219					
魚沼 コシヒカリ	29年	2,835	2,837	2,825	2,764	2,777	2,713	2,616	2,689	2,644	2,777	2,826	2,840
	30年	2,830	2,839	2,825	2,812	2,783	2,830	2,806	2,782	2,807	2,776	2,764	2,743
	31・R1年	2,750	2,770	2,772	2,771	2,763	2,778	2,791					
岩船 コシヒカリ	29年	2,114	2,024	2,031	2,123	2,210	2,230	2,188	2,163	2,181	2,158	2,200	2,224
	30年	2,270	2,292	2,275	2,221	2,264	2,279	2,275	2,254	2,229	2,231	2,254	2,224
	31・R1年	2,244	2,298	2,235	2,276	2,254	2,233	2,199					
佐渡 コシヒカリ	29年	2,121	2,158	2,149	1,983	2,151	2,015	2,141	2,127	2,169	2,174	2,259	2,266
	30年	2,282	2,110	2,243	2,282	2,280	2,260	2,246	2,245	2,231	2,209	2,215	2,246
	31・R1年	2,262	2,289	2,309	2,305	2,308	2,306	2,295					

資料:農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

発行元:新潟県農林水産部農産園芸課

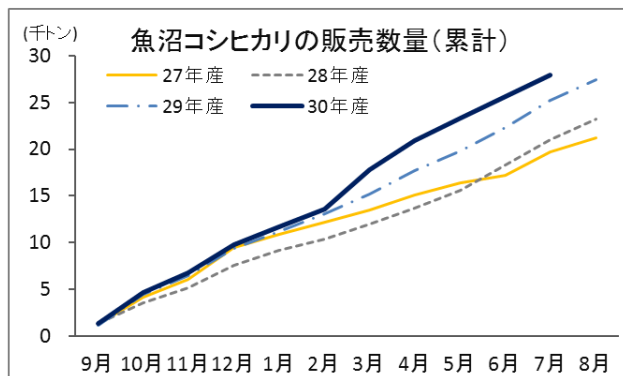
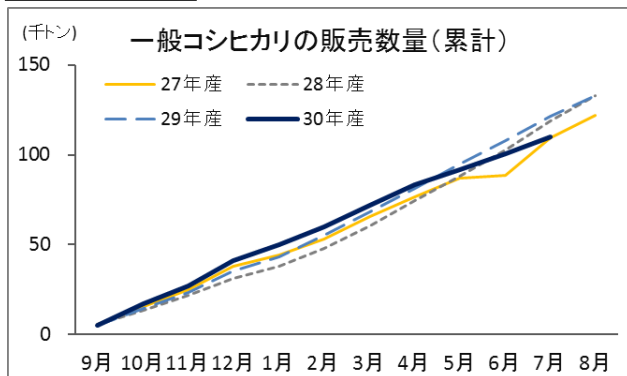
TEL:025-280-5295

URL:https://www.niigatamai.info

# 資料編



## 販売状況



### 販売数量(累計)の推移

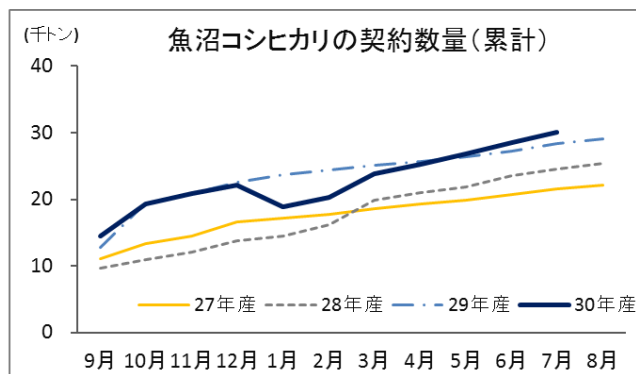
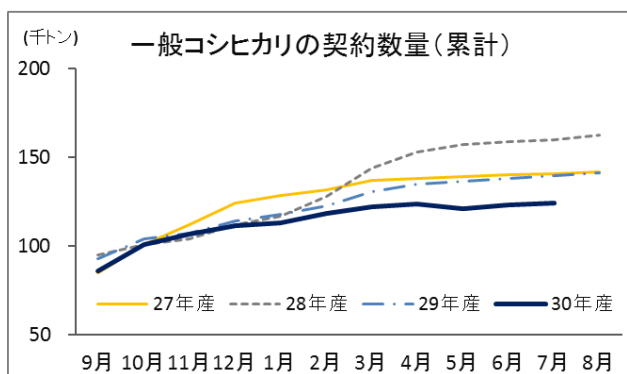
(玄米千トン)

産地・年産	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
一般 コシヒカリ	28年産	5.6	13.7	21.6	31.2	38.1	47.7	60.4	74.7	87.9	102.8	118.6	133.0
	29年産	5.1	14.6	23.5	35.2	43.3	55.3	68.1	81.2	94.6	107.6	121.4	132.6
	30年産	5.3	16.9	27.2	40.9	50.0	59.9	71.7	83.3	91.8	100.3	110.1	
魚沼 コシヒカリ	28年産	1.3	3.5	5.1	7.6	9.2	10.4	12.0	13.7	15.6	18.3	21.0	23.2
	29年産	1.1	4.4	6.5	9.4	11.2	13.1	15.2	17.7	19.8	22.3	25.2	27.4
	30年産	1.3	4.6	6.8	9.8	11.7	13.6	17.8	20.9	23.3	25.6	27.9	
岩船 コシヒカリ	28年産	0.5	1.6	2.4	3.3	4.1	5.0	6.2	7.4	8.5	9.5	10.8	12.5
	29年産	0.2	1.4	2.4	3.1	3.9	4.8	5.9	6.9	7.9	8.7	9.6	10.6
	30年産	0.1	1.5	2.4	3.2	3.7	4.7	5.6	6.9	7.7	8.4	9.5	
佐渡 コシヒカリ	28年産	0.8	2.3	3.3	4.5	5.7	7.1	8.5	9.5	10.8	11.9	12.9	14.0
	29年産	0.4	1.9	2.9	4.0	5.1	6.0	7.1	8.1	9.4	10.3	11.7	13.0
	30年産	0.2	2.2	3.2	4.3	5.5	6.3	7.2	8.1	9	9.7	10.5	

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

## 契約状況



### 契約数量(累計)の推移

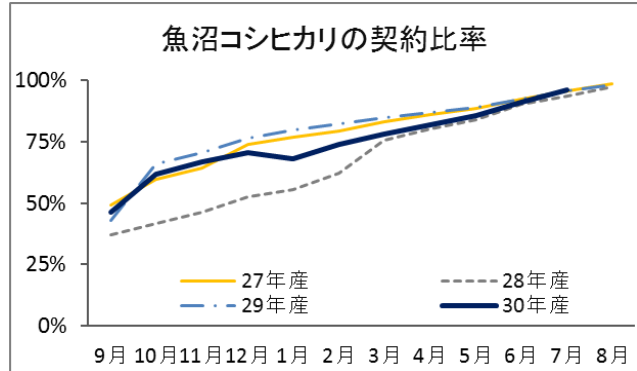
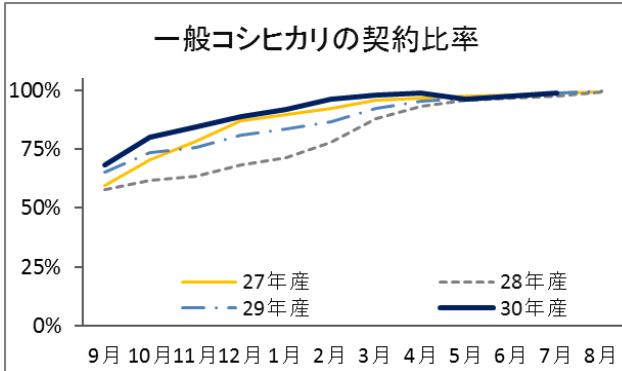
(玄米千トン)

産地・年産	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
一般 コシヒカリ	28年産	94.8	100.7	103.8	112.0	116.6	127.6	143.8	152.7	157.0	158.4	159.8	162.2
	29年産	92.5	103.8	107.3	114.2	117.9	122.6	130.7	134.8	136.4	138.0	139.7	141.1
	30年産	85.7	100.5	106.4	111.5	112.9	118.2	122.0	123.3	120.9	122.8	124.1	
魚沼 コシヒカリ	28年産	9.7	10.9	12.1	13.7	14.5	16.2	19.8	21.0	21.9	23.6	24.5	25.4
	29年産	12.7	19.5	20.9	22.6	23.7	24.4	25.1	25.7	26.4	27.3	28.4	29.1
	30年産	14.4	19.3	20.9	22.1	18.8	20.3	23.8	25.2	26.8	28.5	30	
岩船 コシヒカリ	28年産	10.1	9.6	10.0	10.6	11.3	11.3	12.6	13.4	13.4	13.4	13.4	13.5
	29年産	10.1	10.1	10.1	10.3	10.4	10.7	11.2	11.2	11.2	11.2	11.2	11.2
	30年産	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.2	10.4	10.4	10.4	10.4	
佐渡 コシヒカリ	28年産	12.8	12.4	12.7	13.8	14.0	14.1	15.1	15.3	15.4	15.5	15.6	15.7
	29年産	11.9	12.0	12.1	12.2	12.4	12.9	13.2	13.5	13.5	13.5	13.5	13.6
	30年産	11.2	11.4	11.4	11.7	11.7	11.8	12.1	11.4	11.7	11.7	11.7	

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

## 契約比率



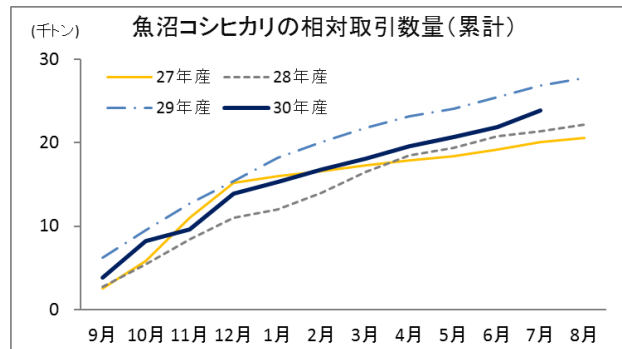
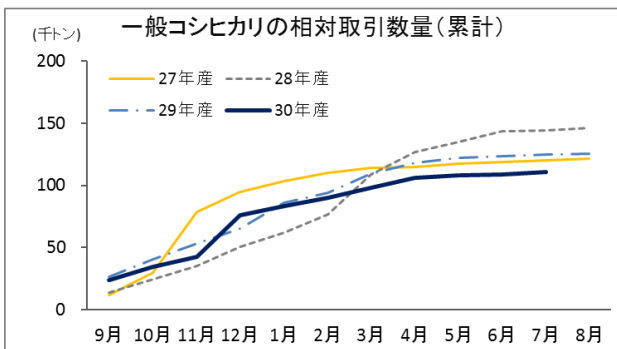
### 契約比率の推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	28年産	58%	62%	63%	68%	71%	78%	88%	93%	96%	97%	98%	99%
	29年産	65%	73%	76%	81%	83%	87%	92%	95%	96%	98%	99%	100%
	30年産	68%	80%	85%	89%	92%	96%	98%	99%	96%	98%	99%	
魚沼 コシヒカリ	28年産	37%	42%	46%	52%	56%	62%	76%	80%	84%	90%	94%	97%
	29年産	43%	66%	71%	76%	80%	82%	85%	87%	89%	92%	96%	98%
	30年産	46%	62%	67%	71%	68%	74%	78%	82%	86%	91%	96%	
岩船 コシヒカリ	28年産	75%	71%	74%	79%	84%	84%	93%	99%	99%	99%	99%	100%
	29年産	90%	91%	90%	92%	93%	96%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	30年産	105%	105%	105%	105%	107%	107%	107%	101%	100%	100%	99%	
佐渡 コシヒカリ	28年産	81%	78%	80%	87%	89%	89%	96%	97%	97%	98%	99%	100%
	29年産	88%	88%	89%	90%	91%	95%	97%	99%	99%	99%	99%	100%
	30年産	94%	96%	96%	98%	98%	99%	101%	95%	98%	98%	98%	

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)平成28・29年産は、各月末時点の販売数量を翌年8月末の集荷量で除して算出。平成30年産12月までは、各月末時点の販売数量を直近月の集荷量で除して算出。(30年産12月以前は国による比率算出が公表されなかったため、公表資料を基に算出。1月以降国は比率を公表)

## 相対取引数量



### 相対取引数量(累計)の推移

(玄米トン)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	28年産	13,994	24,600	35,617	50,378	61,929	76,894	108,630	126,727	134,613	143,258	144,322	146,046
	29年産	26,315	40,574	53,260	65,185	85,828	94,165	109,598	118,046	122,441	123,694	124,707	125,309
	30年産	24,056	34,805	42,333	76,176	83,475	90,377	98,290	106,259	107,846	108,637	110,769	
魚沼 コシヒカリ	28年産	2,774	5,394	8,421	10,982	12,048	13,970	16,458	18,482	19,359	20,758	21,411	22,151
	29年産	6,213	9,516	12,708	15,378	18,212	20,077	21,785	23,177	24,067	25,454	26,820	27,785
	30年産	3,859	8,262	9,672	13,887	15,353	16,786	18,050	19,543	20,650	21,836	23,879	
岩船 コシヒカリ	28年産	2,891	3,944	4,827	7,091	8,205	8,387	10,823	11,990	12,225	13,306	13,306	13,306
	29年産	5,843	6,192	6,777	8,030	8,604	9,935	11,225	11,225	11,225	11,225	11,225	11,225
	30年産	4,244	5,391	5,932	8,509	8,762	9,678	10,833	10,833	10,833	10,833	10,833	
佐渡 コシヒカリ	28年産	2,168	3,569	5,302	8,099	9,944	10,517	13,603	14,592	15,186	16,261	16,261	16,421
	29年産	3,789	5,401	6,211	6,948	10,956	11,973	12,945	13,236	13,236	13,236	13,236	13,370
	30年産	3,682	4,782	5,809	8,111	8,749	9,391	10,549	10,549	10,549	10,549	10,549	

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注1) 年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

(注2) 相対取引契約がなかった又は相対取引量が100トン未満であり、価格の公表が行われなかった月については、前月と同じ数量を記載した。